

2024 年 6 月 13 日

報道関係社各位

慶應義塾大学

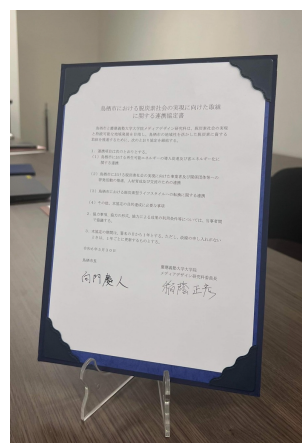
佐賀県鳥栖市と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科が 脱炭素社会の実現に向けた相互連携協定を締結

佐賀県鳥栖市（市長：向門慶人 以下、鳥栖市）と慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（横浜市港北区、研究科委員長：稲蔭正彦 以下、KMD）は、5 月 30 日に、鳥栖エリア特有の「物流拠点となる企業集積地」「地域プロスポーツチーム」との連携を通じた脱炭素社会の実現を目的とする相互連携協定を締結しました。

本協定は 2023 年に締結された佐賀県との連携協定を踏まえ、鳥栖市と KMD 双方の資源やノウハウを活用して持続可能な先進地域化を目指すものです。今回の協定では、大幅な省エネルギー化を実現する最先端の ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）と ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の理解促進並びに導入促進など、脱炭素社会の実現につながる企業の新商品やサービスの実証にも取り組みます。本協定による地域内外とのさらなる連携によって、新たなイノベーションの創出が期待されています。



（写真）5 月 30 日に鳥栖市役所にて相互連携協定を締結
（左から）KMD 岸博幸教授、向門慶人市長



【相互連携協定における連携項目】

- （1） 鳥栖市における脱炭素型ライフスタイルへの転換に関する連携
- （2） 鳥栖市における再生可能エネルギーの導入促進及び省エネルギー化に関する連携
- （3） 鳥栖市における脱炭素社会の実現に向けた市民、事業者及び関係団体向けの啓発活動の推進、人材育成及び交流のための連携
- （4） その他、本協定の目的達成に必要な事項

■ 背景：政府の「2050 年度カーボンニュートラル宣言」表明以降、国内でその動きはさらに加速へ

鳥栖市では 2013 年（平成 25 年）3 月に策定した「鳥栖市地球温暖化対策実行計画」をより実効性あるものとすべく、2022 年（令和 4 年）3 月に策定した「第 3 次鳥栖市環境 基本計画」に内包する形で、「第 2 次鳥栖市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しました。同計画において、2050 年度（令和 32 年度）までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととしており、市民、事業者、行政が一体となってその実現を図るため、2023 年（令和 5 年）12 月に「鳥栖市ゼロカーボンシティ宣言」を実施しています。KMD では 2023 年の佐賀県との持続可能な先進地域化に関する相互連携協定を踏まえて、鳥栖市内においては「物流拠点」「地域スポーツチーム」と

の連携を推進しており、今回、鳥栖市の 2050 年度までに二酸化炭素排出量実質ゼロとするカーボンニュートラルに向けた鳥栖市環境基本計画に賛同し、双方の資源やノウハウを活用しながら連携する運びとなりました。

■（ご参考）これまでの活動について：佐賀県持続可能な先進地域化に関する連携協定を締結（2023 年～）

2023 年より、KMD では佐賀県での脱炭素社会の実現と持続可能な地域発展を目的とし、「地産地消による再生可能エネルギーの安定供給」「時代に即した脱炭素ライフスタイルの具体化」「地場産業の GX※対応を通じた新市場開拓の支援」の 3 つをテーマにした実証実験を推進するため、5 月 17 日に相互連携協定を締結しています。



※GX：Green Transformation の略：脱炭素社会の実現に向けた社会システム全体の変革のこと。国は 2050 年の温室効果ガス排出量実質ゼロ、2030 年の 46%削減（2013 年比）を目標として掲げている

（写真）佐賀県（山口祥義県知事）と KMD（稲蔭正彦研究科委員長）は産学連携協定を締結

■ 佐賀県鳥栖市

市長：向門 慶人
住所：佐賀県鳥栖市宿町 1118 番地
URL：<https://www.city.tosu.lg.jp/>

■ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科

メディアデザイン研究科（KMD）は、イノベーションを自ら生み出し社会に向けて価値を創出する能力を持つ「メディア・イノベータ」の育成をミッションとしています。メディア・イノベータは分野や国境の枠を超えてグローバルに活動し、ポストパンデミックにおける創造社会を先導していきます。

研究科委員長：稲蔭 正彦
住所：神奈川県横浜市港北区日吉 4-1-1
URL：<https://www.kmd.keio.ac.jp/>

■ 地域みらいプロジェクト

「持続可能な地域活性」の実現をミッションとし、専門家視点ではなく地域の実行者目線で最新技術や社会情勢を踏まえた解決案を実情に合わせて体験しながら創ります。地域の課題や特徴などの“気づき”を住民の方と一緒に得ながら産官学のオープンイノベーション体制を構築してプロジェクトを実行しています。

担当教官：岸 博幸 教授
プロジェクトリーダー：大江 貴志 研究員
URL：<https://chiki-mirai.localinfo.jp/>

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部等に送信しております。

【本調査内容に関するお問い合わせ先】

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪 聖
Email：sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾広報室（増田）
TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640
Email：m-pr@adst.keio.ac.jp URL：<https://www.keio.ac.jp/>